

A+AVD

◆ 点滴に使用する薬と点滴時間

- 1、15日目：2時間25分

使用する薬	外観	点滴時間	1日目	15日目
吐き気止め① アプレピタント カプセル125mg		ドキシソルビシン 開始の約1時間前 に内服	●	●
吐き気止め② アロキシ®		15分	●	●
ドキシソルビシン 25mg/m ²		5分	●	●
エクザール® 6mg/m ²		5分	●	●
ダカルバジン 375mg/m ²		1時間	●	●
過敏症予防① ポララミン®		30分	●	●
過敏症予防② アセトアミノフェン		アドセトリス® 開始の 30分前に内服	●	●
アドセトリス® 1.2mg/kg	 ※投与量によって 輸液の量が変わります	30分	●	●

- 過敏症予防のポララミン®による眠気が出ることがあるため、ふらつき、転倒に注意し、投与当日の車の運転は行わないでください。
- ドキソルビシンは赤い色の薬であるため、尿の色が1～2日間赤くなることがあります。
- 薬の量は、副作用の程度などにより変更されることがあります。
- 点滴時間はあくまで目安であり、時間が前後することがあります。

◆ スケジュール


28日間を1コースとして、治療を繰り返します。

◆ コース数

計6コース行います。

◆ 吐き気止めの飲み方

- 症状があってもなくても、**必ずお飲みください。**

お薬の名前	1日目	2日目	3日目
	15日目	16日目	17日目
アプレピタント カプセル 80mg 	※	1回 1カプセル 1日 1回 朝食後	

- 他の薬剤の効果に影響を与える可能性があるため、他の病院を受診される際は、本剤を服用していることをお伝えください

※1、15日目は125mgを点滴前に飲みます。

◆ 主な副作用

白血球減少

白血球が減少すると免疫力が低下し、風邪などの感染症にかかりやすくなります。

治療開始1～2週間後に白血球の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

うがい・手洗いなどの感染予防を心がけましょう。

37.5度を超える発熱時、医師からあらかじめ処方された薬がない方は、病院へご連絡ください。

赤血球減少

貧血になり、めまい、だるさ、動悸、息切れなどの症状があらわれます。治療開始2～4週間頃に低くなります。

必要に応じて、薬で治療したり輸血することがあります。

血小板減少

血液が固まりにくくなり、歯茎からの出血や鼻血が出やすくなります。

治療開始1～2週間後に血小板の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

転倒やケガに注意してください。

必要に応じて、輸血することがあります。

【血液検査について】

副作用の確認のために、定期的な血液検査を行います。

◆ 点滴中

下記の赤字の症状があるときは、すぐに医療スタッフへお声かけください。

過敏反応（アレルギー）

寒気、吐き気、頭痛、めまい、発疹、息苦しい

治療開始1～2回目が起きやすいですが、治療を繰り返していても現れることがあります。

血管外漏出

点滴が漏れている、針を刺したところが痛い、熱っぽい、赤く腫れている、違和感がある

※血管痛・静脈炎

薬の種類によっては、点滴が漏れていなくても血管痛を起こすことがあります。また点滴終了後、血管のつっぱり感、硬くなる、色素沈着などの静脈炎が起こるがあります。

点滴前にホットパックで腕を温めるなどの対応を行うことがあります。治療のたびに起こる血管痛が辛い場合や静脈炎がひどい場合は、

主治医や医療スタッフにご相談ください。

◆ 点滴終了後～1週間頃

吐き気・嘔吐・食欲不振

必要に合わせて、吐き気止めでしっかりと予防を行っています。

それでも症状がある場合は、**吐き気止めを追加で使用**することがあります。**水分が摂れないほど吐き気・嘔吐がひどい場合は、ご連絡ください。**

便秘

お腹の動きが悪くなり、便が固くなったりお腹がはる場合があります。食事や水分摂取、適度な運動でも改善しない場合、**下剤を使用**します。

発疹

皮膚が赤くなる、かゆみが出ることがあります。

刺激の少ない肌着を着用しましょう。**塗り薬やかゆみ止めの内服薬を使用**することがあります。

治療開始後数日以内に全身に発疹やかゆみが出る、目の粘膜や唇がただれる、発熱を伴う場合などはすぐに病院へ連絡してください。

倦怠感（だるさ）

疲れやすい、気力がない、体が重いなどの症状で、日常生活に支障が出る場合は、診察時に主治医へご相談ください。

◆ 1～2週間頃

下痢

普段より1日4回以上多く排便がある、または1回でも水のような便があるときは、**下痢止めを使用**することがあります。

強い腹痛や発熱を伴う場合、医師から処方された下痢止めで改善しない場合は、ご連絡ください。

口内炎

口の中がヒリヒリする、しみる、痛くなることがあります。

歯みがきやうがいで口の中を清潔に保ち、乾燥を防ぐことが大切です。またうがい薬や塗り薬を使用することがあります。

がまんできない、水分もとれないほどの口の中の痛みがある場合は、病院へご連絡ください。

◆ 2～3週間頃

脱毛

薬の種類によって抜けやすさは異なりますが、1～2か月後にはかなり目立つようになります。

髪の毛以外（まゆ毛、まつ毛など）全身の体毛も同様に抜けます。

治療が終了すると、少しずつですが生えてきます。

◆ 蓄積性の副作用

末梢神経障害（手や足の感覚が鈍くなる、しびれ）

治療を長く続けると少しずつ悪化し、しびれや痛みが持続するようになります。治療を終えても回復に時間がかかります。

手先をうまく使えずボタンがかけづらい、転倒しやすいなど、日常生活に支障が出る前に、診察時に医師に相談してください。

色素沈着

皮膚に日焼けのようなしみができる、爪が黒ずむ

味覚障害

味を感じにくくなる、塩味を強く感じる、金属味がする、まずく感じるなど味覚に異常が出る場合があります。

聴覚障害

耳が聞こえづらい、耳鳴りが続く場合は、診察時にご相談ください。

◆ その他の副作用

非常にまれな副作用ですが、万が一赤字の症状がある場合は、すぐに病院へご連絡ください。

間質性肺炎

たんが絡まない乾いた咳、息苦しい、発熱

心障害

定期的な心機能検査を行います。

足がむくむ、顔やまぶたが腫れぼったくなる、3日で2kg以上の体重増加がある、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる

肝機能障害

定期的な血液検査を行います。

白目や皮膚が黄色くなる（黄疸）、ひどいだるさ

膵炎

お腹や背中痛み、吐き気・嘔吐

◆ 緊急時の連絡方法

困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。

気持ち悪くて水分も摂れない
下痢が止まらない
37.5℃以上の発熱が続いている
薬の使用方法がわからない

など



診察券を用意する

代表：044-977-8111 に電話をかける

平日：8:30-17:00
土曜日：8:30-12:30

血液内科の
主治医または担当医

夜間帯・休診日
など左記以外の時間
血液内科の当直医

◆ 予約外受診の方法

病院本館正面玄関に入って右手の
「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした後、
各診療科の外来でお待ちください。

※受付時間：平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00

- 生活上の注意については、別冊のパンフレットもご参照ください。
- ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

薬剤師